

鶏肉情勢

項目	内容
供給	1. 国内 (1) 平成29年3月単月の推計実績は、前年との比較で入雛羽数が99.3%と下回った。しかしながら処理羽数では大腸菌症等による廃棄が微増(0.07%)したものの101.5%、処理重量も101.7%と前年比で上回る結果となった。 (2) 平成29年4月～6月の推計計画は、(一社)日本食鳥協会の生産・処理動向調査(4月下旬取り纏め)によると、入雛羽数については4月が前年比98.4%と下回り、5・6月は前年を3%程上回る見込みとなっている。また処理重量については5月は前回(3月)調査より若干上回り同100.0%、6月についても同100.7%と2ヶ月ぶりに上回る見込みとなった。しかしながら3月実績に比べ処理羽数・処理重量とも減少するため、温暖な季節から多少も肉の需要が緩んでいるものの、生鮮品・凍結品とも余剰感がない状況が続くものと思われる。
	2. 輸入 (1) 輸入鶏肉の平成29年3月通関実績は、前月に比べ約8千トン減の37.3千トン(前年比84.1%)と大幅な減少となった。国別では、主なところはブラジル27千トン(同81.2%)、タイ8.8千トン(同103.9%)、アメリカ1.2千トン(同65.0%)となっている。要因としてブラジルは食肉不正事件による輸入時のサルモネラ属菌検査等の実施で通関遅れの発生もあり減少、タイは前年からの傾向とおり増加、アメリカは日本向け生産遅れで減少したものと思われる。 (2) 鶏肉調製品は、平成29年3月通関実績が、前年比128.2%の39.9千トンとなり前月比でも12.4千トンと大幅に上回った。タイ産(24.7千トン)、中国産(14.8千トン)とも大きく増加し、今年1-3月合計では104.1千トンと前年に比べ約15%増となっており、コンビニ等向けのフライドチキン、焼き鳥等が好調で増加したものと考えられ、鶏肉での不足感を補った形となった。
需要	1. 家計消費 (1) 総務省家計調査による平成29年3月の全国一世帯当たりの鶏肉消費(購入)量は、前年比96.7%の1,385g、購入金額は同100.4%の1,307円となった。消費(購入)量が前年同月を下回るのは平成27年9月以来18カ月ぶりで、購入金額が逆に前年を上回ったのは、ブラジルの食肉不正事件報道の影響で、一時的でも国産鶏肉に需要が集中した事や、それによる鶏肉相場上昇等もあると考えられる。
	2. 量販・卸 (1) 日本チェーンストア協会によると3月の総販売額は前年比98.2%、食料品全体も同98.6%と下回ったが前月比では上回った(104.0%)。畜産品は同98.5%(前月比101.2%)と、牛肉・豚肉・鶏肉の動きは良いと報告されている。鶏肉についてはもも肉、むね肉はもとより手羽先・手羽元の需要も好調を維持している。
	3. 業務・加工筋 (1) 加工筋向けのむね肉は、生鮮での需要が活発なことから凍結品の手当てが困窮してきている。ブラジル産の価格が一時期に比べ落ち着いてきたが、今後もひな不足等が懸念されるなか生産増も見込めず、この状況は長期化する恐れもあると思われる。
在庫	1. 29年2月 (1) 平成29年2月の推定期末国内在庫数量について、国産は閏年の前年より営業日が1日少なかった影響もあり、23.9千トンと前月比では微増も前年比では110.2%と大幅な増となった。輸入品は115.4千トンと前月より微増となったが、前年比で85.3%となり不足感は継続している。
	2. 見通し (1) 国産在庫は、年明けから引き続き生鮮での需要拡大もあり、また3月以降も供給量は前年並みと予想されているため、減少傾向は続くと思われる。 (2) 輸入品は、ブラジル産の価格高騰等により輸入量は減少が見込まれおり、3月以降も在庫は減少すると考えられる。しかし、昨年2月以降の輸入量減少と食肉不正事件等により需給が逼迫していたブラジル産も正肉も、4月下旬になり不足感も緩和の様相で、価格も370円前後まで下落していると報告されている。
相場	1. 4月動向 (1) 平成29年4月の相場は、もも肉658円/kg、むね肉325円/kgと、前月比でもも肉が、16円/kg下げ、むね肉は12円/kg上げ、正肉合計で4円/kgの下げとなったが、前年比で114.0%と大幅な上昇となった。もも肉は、若干の販売の緩みから落ち着いた感はあるものの、この時期としては引き続き高相場で推移し、むね肉については、前月よりさらに需要が高まり高水準で推移した。
	2. 5月見通し (1) 国内生産は前年並みとの予測で、輸入量も日本食肉輸出入協会の予測で5月は45.7千トンと前年並みとされており、価格的にも落ち着いてくると思われる。GW以降相場は弱含みが予測されるが、4月のもも肉相場は過去4年(H25年以降)を見ても最高水準にあり、4月29日の加重平均が647円となった。この市況から鑑みると月平均640円前後の展開を予想する。またむね肉相場は保合いの月平均320円と思われる。

実績										
生産状況 単位:千羽、千トン、%										
	H29年3月推計実績		H29推計合計		29年4月計画		29年5月計画		29年6月計画	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
入雛羽数	59,905	99.3%	175,886	99.2%	58,887	98.4%	59,347	103.5%	58,637	102.7%
処理羽数	59,497	101.5%	167,197	99.8%	55,757	97.8%	57,352	101.6%	57,564	101.6%
処理重量	177.6	101.7%	496.7	99.8%	165.2	96.9%	170.6	100.0%	171.1	100.7%
※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」										
輸入動向 単位:千トン、%										
品名	鶏肉			調製品			合計			比率
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉 調製品
H28年12月	33.0	41.6	79.4	39.9	37.8	105.6	72.9	79.3	91.9	45.3 54.7
H29年1月	31.7	48.4	65.6	36.7	30.3	121.2	68.5	78.7	87.0	46.4 53.6
H29年2月	45.8	47.4	96.5	27.5	29.1	94.5	73.3	76.5	95.8	62.5 37.5
H29年3月	37.3	44.4	84.1	39.9	31.1	128.2	77.2	75.5	102.3	48.3 51.7
H29年合計	114.8	140.2	81.9	104.1	90.5	115.0	219.0	230.7	94.9	52.4 47.6
※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」、全国食鳥新聞										
消費動向(2人以上の世帯) 単位:グラム、円、%										
履歴	数量			金額			相場(年別・暦年) 単位:円			
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比		もも肉	むね肉	計
H29年1月	1,359	1,335	101.8	1,325	1,336	99.2	H23年	642	264	906
H29年2月	1,360	1,310	103.8	1,246	1,292	96.4	H24年	563	189	752
H29年3月	1,385	1,433	96.7	1,307	1,302	100.4	H25年	583	246	829
H29年平均	1,368	1,359	100.6	1,293	1,310	98.7	H26年	626	294	920
※参考資料:総務省統計局HP										
在庫状況 単位:千トン、%										
履歴	国産			輸入品			合計			
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	
H28年11月	24.6	21.3	115.4	137.2	120.1	114.2	161.8	141.4	114.4	
H28年12月	24.2	22.2	109.4	121.8	115.2	105.7	146.1	137.4	106.3	
H29年1月	22.8	23.4	97.5	114.4	123.9	92.3	137.2	147.3	93.1	
H29年2月	23.9	21.7	110.2	115.4	135.2	85.3	139.3	157.0	88.7	
※実績参考資料:畜産日報、農畜産業振興機構										
相場(月別) 単位:円、%										
品名	もも肉			むね肉			正肉合計			
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	
H29年1月	681	668	101.9	253	283	89.4	934	951	98.2	
H29年2月	685	633	108.2	284	263	108.0	969	896	108.1	
H29年3月	674	617	109.2	313	256	122.3	987	873	113.1	
H29年4月	658	612	107.5	325	250	130.0	983	862	114.0	
H29年5月	(640)	613	104.4	(320)	248	129.0	(960)	861	111.5	※()は見通し
H29年6月	(630)	601	104.8	(320)	240	133.3	(950)	841	113.0	
H29年平均	675	633	106.6	283	263	107.6	958	896	106.9	